進化した監視カメラ用録画・配信サーバ“ネカ録”

三浦敏広*
内村誠之*

Evolving Recording and Delivery Server "NECAROKU" for Surveillance Camera

Toshihiro Miura, Seishi Uchimura

要　旨

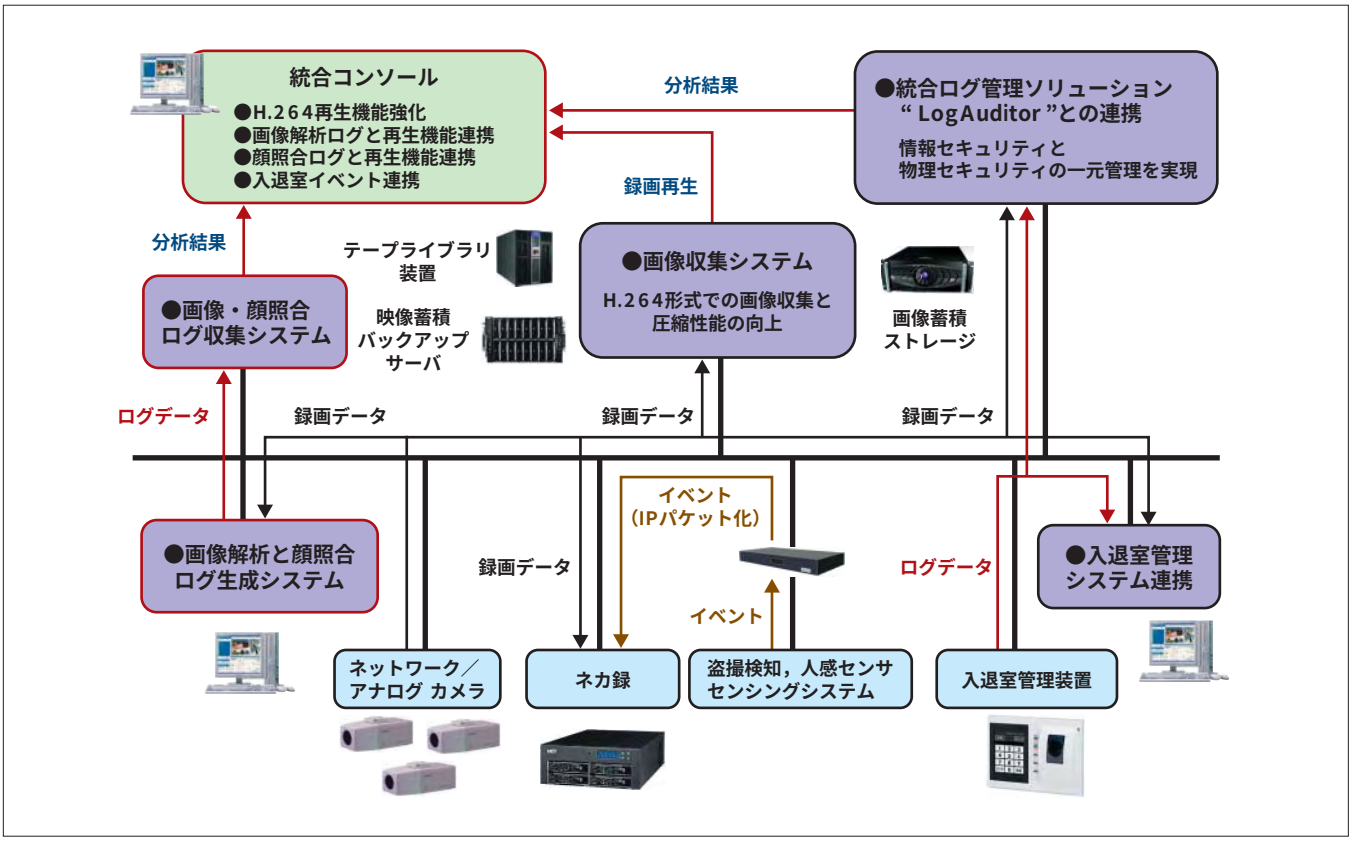
“ネカ録(注1)”は，三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱(MDIT)が提供する，ネットワークカメラに対応した監視カメラ用録画・配信サーバである。カメラメーカーを選ばず自由に組み合わせて表示／録画が可能なこと，IP(Internet Protocol)ネットワーク経由での統合的な遠隔監視が可能なことを特長としている。今回，広範なシステム用途に幅広く対応できるように機能強化を図った。

金融や流通市場では，小規模な店舗でも複数台の監視カメラを設置し，更にレジ周辺では店員が取り扱う紙幣の種類や枚数までも正確に判断したいという要望が出ている。これによって，録画画像の大容量化や画像圧縮性能の向上が求められている。

また，単純に画像を蓄積して検索するだけでなく，画像を分析して不審な行動を検知する，顔を照合して記録を残すなどの高度な機能も実現した。

さらに，三菱電機のセキュリティ構築プラットフォーム“DIGUARD NET(注2)”に対応した入退室情報と画像情報を関連付けするシステムや，統合ログ管理ソリューション“LogAuditor(注1)”と連携した情報セキュリティと物理セキュリティを一元管理するシステムを開発して，幅広いニーズに対応するシステム化を図った。

（注１）　ネカ録，LogAuditorは，三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱の登録商標である。
（注２）　DIGUARDは，三菱電機㈱の登録商標である。



“ネカ録”によるシステム連携構成例

ネカ録の本体（中央下）を新製品に全面移行してCPU（Central Processing Unit）性能向上とHDD（Hard Disk Drive）大容量化を実現し，画像収集システムの圧縮性能を向上させ（中央上），カメラ台数増加や長時間録画を可能にした。また，画像解析と顔照合システム（左），統合ログ管理ソリューションとの連携（右上）や入退室管理システムとの連携（右下）によって，高度なトータルセキュリティシステムを構築できる。

*三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱